

中小企業あきた

1 平成24年度第1回理事会を開催 1	
～本年度の活動方針を審議～	
2 平成23年度の重点事業を振り返って 2	
3 古川内閣府特命担当大臣と 経済団体との意見交換会が開催 4	
○中小企業組合等支援施策情報..... 5	○話題の広場
○組合相談コーナー..... 6	中央会事業より／アラカルト..... 8
○景況レポート3月分 7	支援団体活動レポート..... 9
	インフォメーション..... 9
	組合ティールーム／その他..... 10

5
MAY.2012



TOPICS 1

平成24年度第1回理事会を開催

～本年度の活動方針を審議～



4月24日(火)、秋田キャッスルホテルにおいて本会の平成24年度第1回理事会を開催しました。開催にあたり塩田会長は、「県内の中小企業を取り巻く環境は、若干持ち直しの状況も見られるがまだまだ厳しい。今年度も会員組合と連携を深め、『強い組合 強い企業づくり』を基本理念として取り組み、会員組合のニーズに即した事業をきめ細やかにかつ、弾力的に推進していきたい。」と挨拶しました。

引き続き、議案の審議が行われ、平成23年度事業報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分案、平成24年度事業計画(案)及び収支予算(案)など通常総会への提出議案が審議され、各議案が満場一致で承認されました。

今年度も中央会活動ビジョンの実践と『強い組合 強い企業づくり』を推進し、「行動する中央会」を心がけ、社会貢献活動にも積極的に取り組んで参ります。

平成24年度本会通常総会のご案内

日 時：平成24年6月5日(火)

場 所：秋田キャッスルホテル

■通常総会 午後2時30分～ ■表彰式 午後4時～ ■懇親会 午後4時30分～

皆様方多数のご参加をお待ちしております。

本会では、平成23年度、中央会活動ビジョンである「『強い組合 強い企業づくり』の推進と会員組合・組合員企業のニーズに即した事業の実践」を活動目標として、各種事業を実施しました。

本号では、平成23年度に実施した事業の取り組みから、いくつかの事業の成果をご紹介します。

I 組合活力向上事業

組合及び組合員企業が抱えている課題等について、必要に応じて専門家とともに集中的な支援を行いながらその課題解決を図り、組合活力の向上に結びつけることを目的に14組合が実施しました。実施組合より一例を紹介します。

【協同組合あきた安心リフォーム協議会】

組合統一のマニュアルを作成することで、説明や提案の質を高め、トラブルの防止及びアウトサイダーとの差別化を図り、真の「安心リフォーム」を追求することを目的に、全3回に亘り実施しました。

事業では、最初にトラブル事例とクレーム対応に関する研修会を行い、統一マニュアルの必要性を学んだ後、組合内にマニュアル作成委員会を設け、リフォーム工事施工に携わる心構え等の基本行動についての「リフォーム工事マニュアル」を作成しました。完成したマニュアルは、今後、各組合員企業の新人教育等に活用される予定です。



【研修会の様子】



【完成したマニュアル】

II 高齢化社会対応懇談会

急速に進む高齢化社会の中で、昔ながらの“御用聞き”を新しいビジネスとして見直し、“買い物弱者”に対する買い物の利便性の向上や高齢者の生活の安全を守る等、地域ぐるみ或いは異業種の組合の連携により支えていく新たな複合型ビジネスの可能性を模索することを目的に実施しました。

平成23年度は、3回に亘って、高齢化社会の現状把握や高齢者向けサービスの具体的事例を研究し、各業界組合で想定される高齢者向けサービスの内容を中心に懇談を行いました。その結果、高齢者向けサービスの構築に向けた考え方やノウハウについて理解を深めることができ、高齢者ビジネス構築の必要性について認識を共有することができました。

平成24年度は、高齢者を対象とした新たなビジネスへの取り組みが想定される業界組合を対象に、現状や課題を整理しながら、業種の垣根を越えた組合間連携による新たな複合型ビジネスモデルの具体的な仕組みづくりを行い、会員組合にとって有益な新規事業の構築を目指すことにしています。



【懇談会の様子】

Ⅲ 青年部研究会事業

若手経営者の人材育成を図ることを目的に、今年度は4組合の青年部を対象に、経営手法や技術に関する知識等を習得するための研究会を実施しました。

実施組合より一例を紹介します。

【秋田県自動車車体整備協同組合青年部】

次世代自動車である電気自動車の構造を研修し、自動車整備技術の向上を図るとともに、コンバートEVの取り組みを視察することで電気自動車の新技術を研修しました。コンバートEVの製作は比較的容易であることから、新しいビジネスチャンスの芽として自動車整備業界全体で今後の動向に注目しています。



【研修会の様子】

Ⅳ 首都圏攻略プロデュース事業

県内食料品関連業界の活性化を図ることを目的に首都圏で売れる商品の開発から販売促進までを一貫して支援する『首都圏攻略プロデュース事業』を平成22年度に引き続き実施しました。

平成23年度は、プレゼンテーション審査により採択された株式会社菓子舗榮太楼(秋田市)、株式会社鈴木水産(八峰町)の2事業所を対象にマーケティング調査や商品改良支援を実施しました。また、開発商品については、「あきた美彩館」(東京都)での試食販売会や「FOODEX JAPAN 2012」への出展支援等を実施し、新たな販路開拓に繋げることができました。平成24年度も本事業を実施していくことにしています。



【あきた美彩館(東京都)での試食販売会】

Ⅴ グループ創業バックアップ事業

創業に向けた意欲の喚起と、企業組合制度の啓蒙普及を図るため、県内で創業を考えている方や、創業に関する知識を習得したい方を対象に、3日間の日程で創業塾を開催しました。塾では、創業に関する心構えを学び、創業の具体的なプランの作成を行いました。また、創業の事例として、地元農産品の販売にこだわった事業を展開している青森県の「企業組合あおり万華堂」を招き、体験談を伺いました。創業塾を受講したことによって創業意欲が高まり、終了後に個人創業を目指す受講者や、グループによる企業組合設立や農事組合法人設立に向けての動きもみられました。

平成24年度は、引き続き県内でグループ創業を目指す方の支援と、協同組合設立に向けた任意グループ等への組織化支援を行うことにしています。



【創業塾の様子】

Ⅵ 農商工連携等人材育成事業(農商工連携人材育成スクール)

本県の食糧自給率が全国2位である強みを活かし、農商工連携を通じて、農林水産物を利用した売れる商品づくりから販売まで幅広い視点で推進できる人材を育成し、付加価値の高い商品・サービスの創出につなげていくことを目的に農商工連携人材育成スクールを実施しました。

本スクールは、県内中小企業者や生産者等68名の参加により開講し、半年以上に亘って、講義、ロールプレイングと、試作品開発を含む実地研修を行いました。終了後に受講者が連携して商品化し、販売にこぎ着けた事例もあります。



【農商工連携人材育成スクールの様子】

古川内閣府特命担当大臣と 経済団体との意見交換会が開催



【古川大臣の挨拶】



【菊地副会長(左側)】

4月14日(土)、秋田ビューホテルにおいて古川内閣府特命担当大臣と県内経済団体との意見交換が行われ、本会からは菊地成一副会長が出席しました。

古川内閣府特命担当大臣は、「経済政策を行うに当たっては、“グローバルな視点”と、鳥の眼のような“ミクロの視点”の両方から舵取りが必要。」と挨拶し、本県については、「出生率が低く、高齢化が顕著な秋田県は、日本の近未来を象徴している。」「TDKの縮小やエルピーダの閉鎖等暗いニュースが続いているが、今ある雇用を維持し、新しい雇用につなげることが出来るかどうかが問われている。」と発言されました。

続いて、本会を始めとする経済団体の代表者等からそれぞれ意見が述べられ、本会菊地副会長からは、県内中小企業及び木材業界の実情を訴え、支援を要請しました。菊地副会長からの意見は次のとおり。

1 創業を促進するための制度の充実について

創業の促進には、ベンチャーキャピタルが必要であり、創業が進まないのは、会社の借金を個人が保証する日本独特の金融システムにあると思われる。失敗しても個人に跳ね返らない金融システムを実現して欲しい。

2 輸出増大に関する支援について

中国等での需要に対応した輸出増大への取り組みが急務になっており、中小企業者が外国に対して円滑に製品を販売できるように国を挙げて支援をお願いしたい。

3 木材の利用促進について

日本の森を再生させるために、県産材のみの利用促進でなく、「国産材」という大きな括りで、木材の利用を見直ししていかなければならない。

■全国中央会が本会会員組合の共同事業を紹介

全国中小企業団体中央会が平成23年度に実施した「事業協同組合実態調査(調査対象全国3,100組合)」において、本会会員の「秋田管工事業協同組合」と「秋田県農業機械商業協同組合」が実地調査を受け、共同事業の取り組みが報告書で紹介されました。

秋田管工事業協同組合(昭和62年設立：高橋正男理事長、組合員36名)

- 【主な共同事業】
- 1 資材の共同購入
 - 2 秋田市上下水道に係る給排水工事の申請図面の作成代行
 - 3 秋田市上下水道局委託業務の共同受注
(宿日直、漏水修理工事、検針業務、検針メーターの取替業務)

災害協定の締結や除雪作業、防災訓練への協力を通じて秋田市との連携を強化する等、地域に貢献しながら組合員の事業機会の確保を図っている。

秋田県農業機械商業協同組合(昭和39年設立：白石光弘理事長、組合員35名)

- 【主な共同事業】
- 1 農業機械の共同購入
 - 2 金融事業
 - 3 農業機械の整備流通に関する事業(整備施設の認定、技術士検定の普及)

共同購買事業における組合員利用割合が100%であり、1組合員当たりの利用額も全国の協同組合の中で上位となっている。組合では、農業機械整備技術士の普及・育成や中古農業機械市場の活性化への取り組みを通じて、中小規模の組合員の経営改善をサポートしている。

中小企業組合等支援施策情報

■秋田県の補助事業のご紹介

1 工場、研究所等の新增設・集約や事業承継を支援 「あきた企業チャレンジ応援事業」

秋田県内に工場、研究所、事業所を新增設または集約する企業や、工場等閉鎖に伴う事業承継を行う企業に、初期投資や集約、事業承継、雇用に必要な経費の一部を助成します。

○補助対象経費

- (1) 新增設型 県内に工場等を新增設する製造業、情報通信関連型企業、研究開発型企業、または県を超えた広域物流ネットワークを構築する企業が雇用に要した経費と投下固定資産経費
- (2) 集約型 県外の工場等を県内に集約する製造業が集約に要した経費と雇用に要した経費
- (3) 事業承継型 製造業を営む県内の工場閉鎖に伴い、その従業員等が事業を承継するために建物や機械等の取得に要した経費

○募集期間 平成25年3月31日まで

【お問い合わせ先】 秋田県産業労働部地域産業振興課企業支援第二班 ☎018-860-2225

2 地域資源を活用した創業や新商品開発等の取組を支援 「あきた企業応援ファンド事業」

県内企業の付加価値の向上を通じて県経済の活性化や雇用の場創出を図るため、県内に存在する地域資源を活用した創業や県内企業の新商品・新役務の開発、販路拡大等の経営革新への取組を支援します。

○補助対象者 中小企業者、NPO法人、中小企業者として創業する方、組合等

○補助対象事業 (1) NPO法人、有限責任事業組合、中小企業者として創業する方

①重点支援枠

補助率 2/3以内

補助金額 500万円以内(下限20万円)

②一般枠

補助率 1/2以内

補助金額 300万円以内(下限20万円)

(2) 組合等が実施する地域資源を活用した新商品の開発、展示会、技術講習会等

補助率 10/10以内

補助金額 300万円以内(下限50万円)

○募集期間 平成24年5月10日(木)～平成24年6月11日(月)

【お問い合わせ先】 秋田県産業労働部地域産業振興課企業支援第一班 ☎018-860-2225

3 中心市街地再生・魅力あるまちづくりを支援 「街なか商業活性化市町村支援事業(間接補助金)」

中心市街地の商業活性化に向けて、意欲と創意工夫ある取り組みに対し、市町村と県が柔軟な補助制度で支援します。

空店舗活用、高齢者等支援、若手人材交流、地域の歴史・文化を活用した街おこし等、さまざまな事業が対象となります。

(例) ①閉店した大型店や商店街の空店舗を活用し、地域ならではの特性を活かした営業の実践

②高齢者等の生活のバックアップに資する買い物・介護・セキュリティ分野の開拓 等

本事業に取り組んでみたい方は、各市町村商工担当課までご相談下さい。

■融資制度のご案内

1 セーフティネット貸付(経営環境変化資金)

社会的、経済的環境変化により、一時的に売上や利益が減少する等業況が悪化している方

貸付限度額	資金用途	償還期間	据置期間	貸付利率
4,800万円	設備・運転	設備15年以内 運転8年以内	3年以内	※1.55~3.20%(年) 平成24.4.11現在

※貸付利率 一定の要件に該当する場合、最大0.5%引下げ

2 設備資金貸付利率特例制度

政府の経済対策により、設備投資の促進を図るため、設備資金における各種融資制度の利率から、当初2年間について0.5%引下げ

【お問い合わせ先】 日本政策金融公庫 国民生活事業

秋田支店 秋田市中通五丁目1-51 北都ビルディング1F ☎018-832-5641

大館支店 大館市御成町二丁目3-38 ☎0186-42-3407

3 中小企業組織融資制度

中小企業団体中央会に加入している中小企業組合(中小企業団体の組織に関する法律または商店街振興組合法に基づいて組織されたもの)及びその組合員は、中小企業のための融資制度をご利用いただけます。(※据置期間・担保・保証人は商工組合中央金庫の定めによります。)

- (1) 近代化・合理化・経営の改善に要するための資金
- (2) 秋田港のコンテナ航路を利用し、輸入代金の決済を信用状(L/C)方式で行うためのL/Cの開設及び決済に要するための資金

貸付限度額	資金用途	償還期間	据置期間	貸付利率	保証料
組合員 2千万円 組合 5億円	設備・運転	設備10年以内 運転7年以内	—	商工中金利率の 0.5%減	—

【お問い合わせ先】 本会総務企画課 ☎018-863-8701

組合相談コーナー 総会後の事務処理について

Q 当組合は通常総会で任期満了により役員改選を行いました。総会終了後の事務手続きは、行政庁に決算関係書類を提出するだけで良いのでしょうか。

A 通常総会で役員改選を行った場合は、総会終了後に決算関係書類と併せて役員変更届出書の提出と代表理事の変更登記が必要になります。なお、理事長が重任の場合も、役員変更届出書を提出し、代表理事の変更登記を行って下さい。

ここで、総会終了後に必要な事務手続きについて確認してみましょう。
次の説明が正しければ○を、誤っている場合は×を付けて下さい。



- 1 組合は毎事業年度、通常総会終了の日から二週間以内に、所管行政庁に決算関係書類等を提出しなければならない。
- 2 組合は代表権の有無に関わらず理事全員を登記しなければならない。
- 3 役員改選で、新理事に前理事長が含まれなかった場合、理事会議事録には新理事全員の実印で押印が必要である。
- 4 組合役員の氏名に変更があった場合のみ、行政庁への届出義務がある。

※回答は10ページに掲載しています。

景況レポート

(3月分・情報連絡員 80名)

原油価格の高騰により収支悪化

～経営は依然厳しい状況～

【概況】3月の県内景況は、前年同月と比較して、景況が「好転」したとする向きが12.5%(前月調査7.5%)、「悪化」が35.0%(同42.5%)で、業界全体のDI値は-22.5となり、前月調査と比較して12.5ポイント上回った。

内訳として、製造業全体のDI値は-15.7で前月調査(-31.2)と比較して15.5ポイント上回った。また、非製造業全体は-27.1で前月調査(-37.5)と比較して10.4ポイント上回った。

DI値をみると、昨年7月の-22.5と同じ数値に戻ってはいるが、依然として景気回復の実感乏しい。原油価格の高騰による影響が顕在化してきており、収益面で悪化している状況が多く見られ、情報連絡員からも原油高騰による収支の悪化等厳しい経営状況にあるとの声が多く聞かれた。

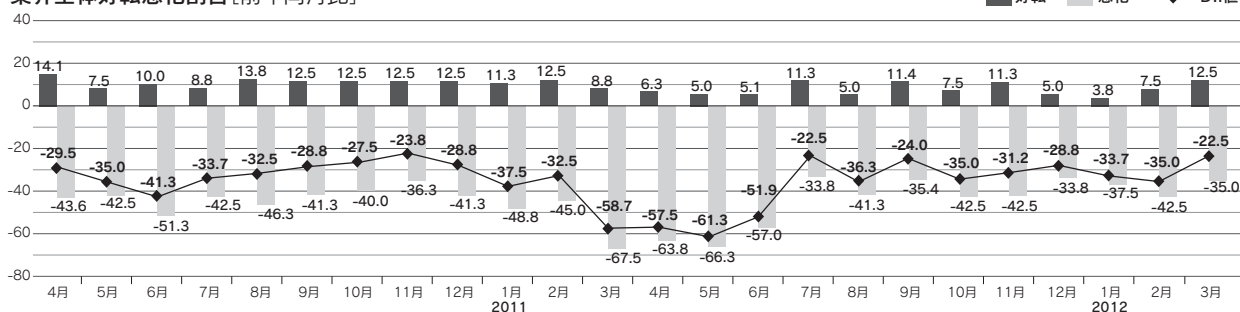
(回答数:80名 回答率:100%)

項目	業界の景況	売上高	販売価格	取引条件	資金繰り	雇用人員
業種						
製造業	☔	☔	☔	☔	☔	☔
非製造業	☔	☔	☔	☔	☔	☔

【凡例】
 ☀️ 快晴 30以上
 ☁️ 晴れ 10以上 30未満
 ☁️ 曇り △10以上 △30未満
 ☔ 雨 △10未満 △10未満
 ⚡ 雷雨 △30以下
 【天気図の見方】
 前年同月のDI値をもとに作成しています。

※DI値とは、Diffusion Index (ティフュージョン・インデックス) の略で、増加(好転)したとする企業割合から、減少(悪化)したとする企業割合を差し引いた値です。

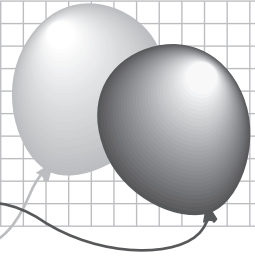
業界全体好転悪化割合[前年同月比]



業界の声

パン製造	スーパーでは、大手メーカーを中心に価格を崩すところが出始め、乱売合戦になる恐れがある。
清酒製造	2月の清酒出荷量は、前年同月比106.7%となった。タイプ別では、吟醸酒が前年同月比123.2%、純米酒が101.0%、本醸造酒が95.6%、レギュラー酒が107.2%という状況である。
繊維製品	全国的な低温のため、春物商品の動きが鈍く、アパレルメーカーからの発注が不調。百貨店を中心に販売価格見直しの動きがあり、加工賃引き下げの要請が出ている。消費動向が不透明なため、縫製企業は相変わらず厳しい状況にある。
一般製材	東北・北海道の冬期間は合板の低需要期であり、さらに今年は大雪の影響もあって住宅建設が遅れた。東日本大震災で津波被害を受けた合板工場が徐々に回復して、生産供給能力が高まると予想されるが、市況は当面厳しい状況で推移するものと思われる。
生コン	東日本大震災の影響による落ち込みの反動があり、3月の出荷数量は前年同月比110%台となる見通しである。4月から3月までの累計が対前年比97%の688千㎡に落ちつく見通しだが、ここにきてセメントメーカーからの値上げ要請があり経営を圧迫している。
卸売業	日用雑貨・事務用品関係は、需要の停滞から売上は減少傾向にあり、業況は依然厳しい。酒類卸売業の売上も前年同期比減少している。サッシ・住宅機器卸関係は、震災の復旧・復興に伴う工事による特需が発生して、売上が増加し4月以降の見通しも良い。
自動車販売	3月の新車販売台数は、登録自動車が4,835台(前年同月比245.3%)、軽自動車が3,531台(同225.6%)で、合計8,366台(同236.6%)であった。大幅に伸びた要因は、前年が震災で極端に低かったことからの反動と、エコカー補助金が復活し販売の後押しとなったことが考えられる。
石油販売	ガソリン1ℓ当たり151円で前月比10円引き上げ、軽油1ℓ当たり131円で前月比7円引き上げ、配達灯油は18ℓで1,753円と前月比104円の引き上げとなった。イラン情勢の緊迫化と円安ドル高の進行により、仕切り価格の上昇が続いた。
商店街	震災のあった前年と比較できないが、生花店は開店祝い等の需要もあり、盛況であった。一方、家電はラジオ電池等の在庫がなくなった昨年と比べ、売上は若干マイナスだった。(秋田市)
旅行	3月の売上は前年同月比で国内旅行が40%増、海外旅行が18%増となった。特に、国内旅行は21年度比60%増となっており、予想以上に回復している。4月～6月の受注も順調であり、今後の天候等に特段の変化がなければ、若干期待ができそう。
トラック運送	燃料価格が前月比で1ℓ当たり10円上昇し、平成20年に記録した最高値に近づいてきたが、運賃への転嫁は難しく、収益がさらに悪化している。

話題の広場



中央会事業より

秋田県の観光振興・発展を支援します

4月6日(金)、秋田市観光アドバイザーで、株式会社うぶすな代表取締役の吉井靖氏が来所し、本会の高橋専務理事と秋田県の観光振興について意見交換をしました。

秋田県は、平成25年のデスティネーションキャンペーンや平成26年の国民文化祭の開催を控えており、県外客を取り込む千載一遇のチャンスを活かすために、どのような取り組みが必要かなどを懇談しました。

なお、本会では、今年度「DC対応観光産業懇談会事業」を実施することにしており、行政と観光業界とが連携することにより、集客や売上を確保できるような活動について懇談することになっています。

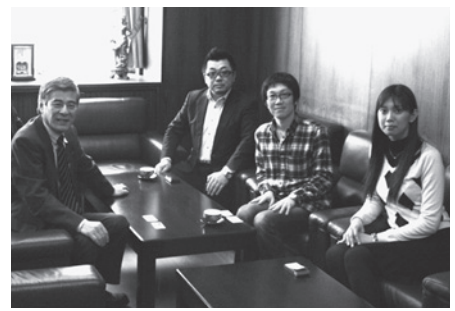
事業の概要は以下のとおり。 ※DC=Destination(目的地・行き先) Campaign(宣伝活動)

【DC対応観光産業懇談会事業】(テーマ・回数は変更になる場合があります。)

2回の懇談会を通じて、県内の観光関連施策に関する現場の意見を集約し、県内観光業界全体の活性化について検討します。

テーマ① 「県内観光関連施策に関する提言について」

テーマ② 「DC開催時の観光関連組合が連携した参加について」



【吉井秋田市観光アドバイザー(中央)と】

アラカルト

● a la carte ●

■「競り下げ方式」導入に対する反対意見書を提出

平成24年3月30日、全国中小企業団体中央会では、民主党中小企業政策推進議員連盟の増子会長に対し、「競り下げ方式を活用した公共調達の規定」についての意見書を提出しました。

「競り下げ方式」については、現在、試行の段階にあり、その試行結果の情報開示が十分ではないことや、低価格競争を助長するなど中小企業者の事業環境への影響についても十分な検証が行われていないため、今回の要望で中小企業者に対する最大限の配慮を求めました。

本会でも、3月19日、民主党秋田県総支部連合会に同様の意見書を提出しました。

■2012年は「国際協同組合年」です！

協同組合がもたらす社会経済的発展への貢献が国際的に認められ、2009年12月、国連の総会で2012年を国際協同組合年(International Year of Co-operatives=IYC)とすることが宣言されました。

国際協同組合年には、次の3つの目的に向かって、国内外で様々な取り組みが行われます。

- (1)協同組合についての社会的認知度を高める(協同組合の貢献・協同組合の世界的ネットワーク・コミュニティ構築や平和への取組などについて知ってもらう)
- (2)協同組合の設立や発展を促進する
- (3)協同組合の設立や発展につながる政策を定めるよう政府や関係機関に働きかける

支援団体活動レポート

秋田県アパレル産業振興協議会の活動を紹介

秋田県アパレル産業振興協議会(佐々木繁治会長)は、平成23年度に、秋田県総務部広報広聴課イメージアップ戦略推進室から、県職員が県外向けの企業誘致や各種イベントの際に統一して着用するブレザー・ネクタイ等の製作についての業務を受託し、3月に4品目の納品を完了しました。今後も、秋田県の縫製業の確かな技術を知ってもらい、受注に結びつけるために積極的な活動を行うこととしています。



【男性用ネクタイ】



【男性用ジャケット】



【女性用スカーフ】



【ポケットチーフ】

また、3月20日(火)には秋田県庁第二庁舎ものづくり展示ホールの企画展として開催された体験教室「ミシンを使って小物袋を作ってみよう」に、ミシンや生地を提供しました。

体験教室は、秋田県の縫製業について興味を持ってもらうために開催されたイベントで、参加した子供たちは、家庭用ミシンと工業用ミシンを上手に使用してオリジナル作品を完成させていました。



【体験教室の様子】

インフォメーション

平成24年度の助成事業を募集

～秋田県少子化対策応援ファンド事業～

秋田県の少子化を克服する次のいずれかの事業への取り組みに対して、1件当たり30万円(10/10)を助成します。

- (1) 若者定着支援に関する事業 職場見学会、プロの講師による就職支援等
- (2) 独身男女の出会い・結婚支援に関する事業
スポーツ、趣味、共同作業などを通じた独身男女の交流イベント等
- (3) 仕事と家庭の両立支援に関する事業 若手経営者を対象とした勉強会等
- (4) 子ども・子育て支援に関する事業 地域のお年寄り等による子育てサポート等
- (5) その他、秋田県少子化対策として効果が期待できる事業

○助成対象者 NPO、子育てサークル、ボランティア団体など民間の団体及び企業

○受付期間 第1回：～5月10日(木)／第2回：6月11日(月)～7月10日(火)

【お問い合わせ先】 秋田県企画振興部少子化対策局 ☎018-860-1248

第64回中小企業団体全国大会(宮崎県大会)開催日程のお知らせ

日時 平成24年10月25日(木) 14:10～

場所 フェニックス・シーガイア・リゾート「シーガイアコンベンションセンター」
(宮崎県宮崎市)

※全国大会開催に伴い、本会でオリジナルツアー(観光コース・ゴルフコース)を企画いたします。

ツアーの詳細が決定しましたら、あらためてご案内いたしますので、是非ご参加下さい。

なお、ゴルフを希望の方はお早めにお申し込み下さい。



組合ティールーム

企業組合秋田北部清掃興業

理事長 長崎 雄二さん

◎理事長としての抱負

本組合は、昭和42年に企業組合同士が合併してできた珍しい形の組合です。設立当初から『家族的な運営』を基本として活動してきました。

今は、し尿の汲み取り業務と一般廃棄物の回収業務を主として活動していますが、秋田市北部地区内の清掃会社というイメージで捉えられており、様々な問い合わせがあります。

中には専門以外の依頼もありますが、即座に断ることなく、お客様に対しても大切な家族のように接するように心掛けています。日常の組合活動においては、『家族的』であることを大切にしています。



◎座右の銘について

座右の銘は、「誠心誠意」と「今日一日の実行と努力は必ず明日につながっていく」ということです。机の横にこの二つの言葉を掲げ、常に意識して日々の業務に取り組んでいます。

◎趣味について

もともとの趣味は、「飲食」、「旅行」、「ゴルフ」でしたが、昨年大病を患ってからは「歩くこと（ゴルフ）」と「旅行」になりました。旅行は関係先の行事をはじめ、妻と二人で出かけています。今年は3月になっても寒い日が多く雪解けが遅かったため、まだラウンドしていませんが、芝の上を歩く日を楽しみにしています。

■「労働保険の年度更新手続き」をお忘れなく！

労働保険（労災保険・雇用保険）の保険料は、事業主が年度当初に概算で申告・納付し、翌年度の当初に確定申告の上、精算することとなっています。

平成24年度の申告・納付期間は、**6月1日(金)から7月10日(火)**です。

なお、平成24年度の雇用保険の保険料率は平成23年度よりも引き下げられていますので、ご確認下さい。

秋田労働局ホームページ（平成24年度雇用保険料率表）

<http://akita-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/var/rev0/0026/4636/2012126135129.pdf>

プルタブの回収にご協力下さい！

本会では、社会貢献活動の一環として、会員組合のネットワークを活用し、車いすが必要とされる人に寄贈することを目的に、4月から空き缶のフタについているプルタブの回収運動を行っています。

この運動は資源を活用し、人にやさしく、身の回り環境を住みやすいものにしようとするもので、800kgのプルタブを集めると車いす1台に交換してもらうことができます。

本会でも、積極的にプルタブの回収に取り組んでいきますので、是非、ご協力をお願い致します。

なお、一定量が集まりましたら本会職員が回収に伺います。
〈お問い合わせ〉本会総務企画課（☎018-863-8701）



つまみ部分↑がプルタブです

秋田流通サービス事業協同組合

㈱出羽運輸	里見運送(有)	合資会社塩喜運送
秋田第一貨物自動車㈱	千歳運送(有)	㈱丸橋運輸
六郷小型貨物自動車運送(株)	㈱秋田おぼこ運輸	姉崎商運(株)
㈱三ウラ産業	㈱仙建	豊幸商事運輸(有)
日通横手運輸(株)	㈱藤原運送	横手運送(株)
大曲小型貨物自動車運送(株)	角間川運送(株)	田沢湖運送(株)
十文字運送(株)	エコー運輸(株)	湯沢運送(株)
川連運送(株)	㈱岡部興業	㈱北國急行

※順不同

〒013-0001 秋田県横手市杉沢字中杉沢 592 番地の 3
TEL 0182-33-2561 FAX 0182-33-1299



東北オンリーワンの総合物流サービス企業

YOKOUN 横手運送株式会社

経営理念：総合物流事業を通じて地域社会に貢献します

〒013-0072 秋田県横手市卸町8番14号 TEL.0182-32-3667 FAX.0182-32-5672
<http://www.yokoun.co.jp/>

官公需適格組合

『カデル』

秋田管工事業協同組合

理事長 高橋正男
副理事長 宮崎真吾
" 本多秀文

秋田市山王臨海町3番18号
☎018(862)6161/FAX 018(824)5685



秋田魁新報社デザインルーム

(株)サキガケ・アド・ブレン

代表取締役社長 沓澤伸義

〒010-0956 秋田市山王臨海町1-1(秋田魁新報社5F)
TEL 018-862-7923 FAX 018-862-9186
URL <http://www.adnet-sakigake.com/>



農業機械のことならクボタにおまかせ下さい。



クボタバワクロトラクタ



クボタ乗用田植機



クボタコンバイン

まごころと技術でこたえる・・・

株式会社 秋田クボタ

〒011-0901 秋田市寺内字神屋敷295-38
Tel:018-845-2121 Fax:018-845-6600

ご家庭と企業に
安心と安全をお約束



株式会社
北日本リース
TEL.018-883-1888 FAX.018-883-1822

株式会社
北日本ベストサポート
TEL.018-896-5080 FAX.018-896-5087

〒010-0967 秋田市高陽幸町8番17号岸ビル内

秋田キャッスルホテル

進化と深化。



Akita
Castle Hotel

秋田市中通一丁目3-5 Tel:018(834)1141 www.castle-hotel.jp

新型定期預金

マイハーベスト

安心・確実に増やしたい方へ、おすすめの定期預金です。

●販売対象●

個人のお客様を対象とします。

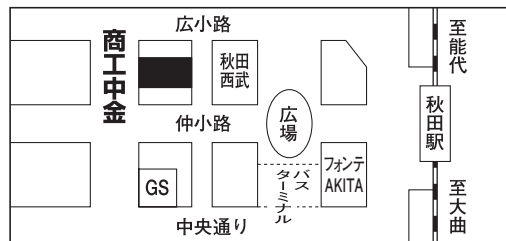
●預入方法●

- (1) 預入方法 一括してお預け入れいただきます。
- (2) 預入金額 50万円以上
- (3) 預入単位 1円単位
- (4) 預入限度額 ありません。

人を思う。未来を思う。

 **商工中金 秋田支店**

〒010-0001 秋田市中通2-4-19 ☎018(833)8531



D I G I T A L S T R A T E G Y

デジタルネットワークでのアドバンテージ。

 **秋田活版印刷株式会社**

〒011-0901 秋田市寺内字三千刈110-1 TEL.018-888-3500 FAX.018-888-3505

2012

5
May

中小企業あきた

平成24年5月1日発行（毎月1日発行）第624号

発行/秋田県中小企業団体中央会 〒010-0923 秋田市旭北錦町1-47 ☎018-863-8701 FAX 018-865-1009

印刷/秋田活版印刷(株)

定価280円